

「つぼみ」細目(二)

自第六開至第十開

山内祥史

第六開 明治二十三年六月二十日発売
 会説

女子洋行論

本邦女学の標準如何

花壇

人は心の寛大なるを要す

梅花女学校本科四年生

人と争ふを論ず文

神戸英和女学校本科一年生 柴田よね

貧苦は幸福の母 同志社女学校生

獅子巨象を搏つ説

梅花女学校本科二年生

警醒の説

鳥取英和女学校生

案山子の説

神戸英和女学校本科二年生 佐野とく

鳥取英和女学校生

九〇一〇
 一〇〇一一
 一一〇一二
 一二〇一三
 一三〇一四

方今貧民の情態に就て感あり

梅花女学校二年生

錨 神戸英和女学校予科二年生 吉田たま

我は春秋より冬を愛す

梅花女学校本科四年生

貧者の子弟を教育する方法

梅花女学校本科一年生

名苑

本邦女子教育に関する意見

日本歴史総論

増野悦与氏の書翰

説林

家族(承前)

よからぬ書物の結果

光と色

鳥取ノ紹介状

鳥取英和女学校通信委員

一四〇一五
 一五〇一六
 一六〇一八
 一八〇一九
 一九〇二一
 二一〇二六
 二六〇二九
 二九〇三一
 三一〇三一
 三二〇三五

数学問題 竹弄生・M.S.N.氏・測天算士 三五～三六

本紙第四開数学問題解説 吉田ちか・出題者 三六～三七

海外彙報 WCS 三八

遺芳 基督教女王略伝 三八～四〇

移植 英諺草 四〇～四一

文華 和漢之詩歌数十篇 白雲居士・永井盈進・三輪 永・高松 新・藤尾春枝・山田とし・福田千代・荒木やす子・中根つね子・三木真砂子・三木千鶴子・吉田ちか子・津枝しづ子・川野松山・堀口濠東 四一～四四

記要 女学生の出陣、本会員の洋行、ウエター嬢、夏期休業 四五

告白 第七開 明治二十三年九月二十六日発売 特別会告、会告

会説 女子専門学校 一～四

花壇 少女の話 山陽英和女学校生 四～五

習性と成るの説 梅花女学校本科三年生 五～七

観月 神戸英和女学校 村山 敏 七～八

蜈蚣脩蛇を制する説 梅花女学校本科二年生 八～一〇

秋日山行 神戸英和女学校予備科二年生 平野志津 一〇～一一

松柏後凋之説 梅花女学校本科二年生 一一～一二

秋日山行 神戸英和女学校予備科二年生 吉田美代 一二

非常之功あるは必ず非常之人を待つの説 梅花女学校本科三年生 一三～一四

秋扇 神戸英和女学校本科四年生 八牧鹿雄 一四

名苑 婦人の精神 岡山 安部磯雄 一五～一九

お土産が貰ひたい 梅花女学校教員 川野健作 二〇～二四

説林 孟母 二四～二五

人に愛せらるゝ法 二五～二六

海外彙報 数学問題 竹弄生・プラス・マイナス生・玉手 二六～三〇

遺芳 美千尾・G.S.生 三〇～三三

サラ、マガレット、フーラー略伝 H.T.女訳 三四～三七

移植 和文英訳、英文和訳 三七～三八

寄書 秃筆無税 鳥取 M.I. 三九～四一

文華

詩歌十数篇 津田白雲・堀口りやう・武田富子・
矢吹竹子・原多賀子・川嶋よし・濠東小
史・大塚陸太郎・梧楼塵仙
四一〇四四

女子教育會記要外数件
女文會々則摘要
四四〇四八

第八開 明治二十三年十月二十日發兌
會告、入會報告
一〇四

従來の女子教育法を改革すべし
花壇
月に対して故郷を憶ふ
一〇四

同志社女学校本科三年生
湊川 神戸英和女学校本科一年生 渡辺須為
會話の注意(マシユウ、ヘール著作)
七〇二一

同志社女学校本科四年生
秋夕の感 同志社女学校本科三年生
友人の許に菊花を贈る文
一〇二

同志社女学校予科二年生
秋夕の感 同志社女学校生
秋夕の感 同志社女学校本科三年生
秋夕の感 同志社女学校本科二年生
一三
一四
一五
一六

生田の森
神戸英和女学校予科二年生 小林 幸
一七

遊高雄山記 梅花女学校本科一年生 一七
対月有感 同志社女学校本科一年生 一八
一八
一九

対月有感 同志社女学校本科一年生 一九〇二〇
対月懷郷 同志社女学校本科一年生 二〇〇
觀萩の記 梅花女学校本科一年二期生 二一〇二三

雨夜読書の説 梅花女学校本科二年一期生 二二
案山子の説 梅花女学校本科二年一期生 二二三〇二四

名苑 家庭教育 精神的育児法 小川はま子 二四〇二七
文章の弁 濠東漁夫 二七〇三〇

説林 ルーサーのウオームスに赴き大議會に列したる 三一〇三三
事 をしふる人とまなぶ人にとに 溪流子 三三〇三四
永交の道 三三〇三五

文話 海外彙報 W.C.S. 三六〇三八
数学(問題) 稷文軒主人 三八〇三九
第六開数学問題解義 三九〇四一

遺芳 メレー、エ、ソバーモリア略伝 T.U.女史訳 四一〇四四
移植 寄書 四一〇四八

和文英訳、英文和訳 寄書 四一〇四八
四山の錦 香川県高松 一 四九

文華 文華 四九

詩歌数十篇 大和田建樹・三木真砂子・永井盈

進・松本ふく子・黒田英子・三木千鶴子

菅 鷹川・無名氏

記要

めぐみ雑誌の発行、神戸英和女学校の改革、大

阪梅花女学校の別科、同盟校職員姓名―神戸英

和女学校、同志社女学校

女文会々則摘要

五〇〇五二

五三〇五四

第九開 明治二十三年十一月二十日発売

会告、入会報告

会説

文章に関係ある学科

花都 美軒小史

一〇四

花壇

秋夜聴笛 梅花女学校本科四年生

秋雨 神戸英和女学校本科二年生 丸山 貞

アピシニヤ福溪之記(翻訳)

同志社女学校本科四年生

五〇六

六

愛菊説

山陽英和女学校生

月に對して書を読むの記

梅花女学校本科一年生

不倒翁 神戸英和女学校本科四年生

夢に広寒宮に遊ぶ

同志社女学校本科三年生

夢に広寒宮に遊ぶ

七〇八

八〇九

九〇一〇

一〇〇一一

一一〇一二

同志社女学校本科二年生
夢に広寒宮に遊ぶ

同志社女学校本科三年生

讀書不論縦横説 山陽英和女学校

菊園に遊ぶ記

梅花女学校本科一年生

夢に月の都に遊ぶ

吉田としゑ

英語に怠る友を忠告する文
梅花女学校本科一年生

歴史の功用を論ず 山陽英和女学校

天長節

神戸英和女学校予備科二年生

秋日山行の記 梅花女学校四年生

名苑

阿蘇紀行 熊本女学校

大学出身女子の事業 三宅かず

神戸英和女学校教師スーザン、エー、ソール女

史稿 た、ひ、女史訳 三二〇三四

家庭教育 精神的育児法(承前) 小川はま子 三五〇三八

説林

燈下所想 京都 素軒学人 三八〇四〇

書翰のはぎよせ 大阪 黙軒子 四〇〇四三

他郷の秋 溪流子 四三〇四四

家族 T.U.女史訳 四四〇四六

花くらべ 猿丸太夫 四六〇四七

文話 四六〇四七

あてもの 四七

遺芳

グレーズダーリング嬢

F. A. 訳 四七〇

移植

和文英訳、英文和訳

五〇〇五三

文華

和歌数十首 郇の山人・葛岡龍吉・永井盈進・

原多賀子・西山茂子・平野糸子・中根つ

ね子・村上こまを・岡田すみえ

五三〇五六

記要

望の夜友のもとに遊びしさまを

五六〇五七

梅花女学校教員 三木真砂子

若松女子文学会、メソヂスト派の女学校新設、

同盟校職員姓名(承前)―山陽英和女学校、松山

女学校

女文会々則摘要

第十開 明治二十三年十二月二十日発兌

新年懸賞問題

会説

花壇

歳暮所感

神戸英和女学校予備科二年生 水谷小琴

奇談輪廻の小車

同志社女学校三年生

同 同

同

同 二年生

同 同

同 同

松柏凋に後るゝの説

梅花女学校本科二年生

紅葉に誘ふ文

同志社女学校予備科二年生

運動

神戸英和女学校本科青年生

小事を慎むの説

神戸英和女学校予備科二年生

印度王女ボカホンタス小伝

同志社女学校本科一年生

慈善会創立を相談する文

梅花女学校本科一年生

いそ〜しかるべき時

神戸女学校

涙

梅花女学校本科二年生

紅葉遊覧に友を誘ふ文

同志社女学校予備科二年生

菊を植ゆるの説

梅花女学校本科二年生

保女の伝を読む

同志社女学校本科一年生

立志

梅花女学校本科一年生

名宛

京都 木村鎮太

一〇

一〇〇一一

一一〇一二

一二〇一三

一三〇一六

一四〇一八

一五〇一九

一六〇二二

一七〇二五

一八〇二八

一九〇三一

二〇〇三四

二一〇三七

二二〇四〇

二三〇四三

二四〇四六

二五〇四九

二六〇五二

二七〇五五

二八〇五八

二九〇六一

三〇〇六四

三一〇六七

三二〇七〇

三三〇七三

三四〇七六

文章の弁(接八開)

濠東漁夫 二六〇二九

説林

をしふる人とまなぶ人とに(承八開) 溪流子 二九〇三一

ルーサーのウオームスに赴き大議會に列したる事(承八開) 三一〇三四

英仏婦人の比較 三三〇三四

文話 三四

海外彙報 W.C.S. 三四〇三七

隱語の解答 W.C.S. 三七

遺芳 三八〇四〇

アーン、ブーリン、の死 Y生 三八〇四〇

移植 W.C.S. 四〇〇四三

和文英訳、英文和訳 W.C.S. 四〇〇四三

寄書 四三〇四六

学校の賜物 在千葉 梅花女学校卒業生 四三〇四六

堺女学校運動会の有様をしるす 堺市立女学校三年生 四六〇四七

文華

マジヨリーの歴 意訳

詩歌十数篇 葛岡龍吉・三木真砂子・高橋とよ 四八

子・伊藤てい子・武田富子・川野松山・ 四八〇五〇

北郊散史 四八〇五〇

記要

日本伝道会社募金、同盟校職員姓名(承前)―梅

花女学校、鳥取英和女学校、熊本女学校

特別会告、会告

つぼみ附録(第一) 明治二十三年十二月二十日発兌

梅花女学校記事 一〇二

内伝道会の近況 二〇三

興文会記事 三〇四

真田こう女逝く 五〇六

梅花女学校卒業生近況 六